

## ロシア東部の対中国貿易の動向と構造

ロシア極東連邦大学教授 タギル D. フジャートフ

グローバル経済危機は、ロ中貿易の成長率にネガティブな影響を及ぼさずにはいなかった。しかし、2010年には経済危機以前の記録が更新され、中国はロシアにとって最大の貿易相手国となった。ロシアの税関統計データによると、2010年のロ中貿易額は50.3%増加し593億ドルになった。ロシアの外国貿易高に占める中国のシェアは9.6%（輸出では5%、輸入では17%）となった。その一方で、2010年のロシアのシェアは約2%で、中国の貿易相手国としては13位だった。

注目すべきなのは、近年のロシアの対中輸出増加率は輸入と比べてかなり低く、その結果、2007年以降のロシアの対中貿易は赤字が拡大しているという事実である。しかし直近では、ロシアの主要輸出品の値上がりで、2011年の出荷量の増大にともない、輸出と輸入が均衡する様子が認められる。

ロシアの対中輸出構造において、主要部分を占めるのは、鉱物製品（主に燃料・エネルギー製品、55.6%）、木材および紙・パルプ製品（14.2%）、化学製品（14.0%）、機械・プラント・輸送機械（7.9%）となっている。金属および金属製品の比率は3.4%、食品および農産物の比率は4.7%となっている。

主要な輸出品は、燃料・エネルギー製品（石油・石油製品、石炭）、原木、製材品、パルプ、鉄鋼原料および半製品（鉱石および鉄精鉱）、冷凍魚、鉱物肥料、航空機用燃料および航空機用部品、未加工ニッケル、合成ゴム、原子

力発電用設備、ラクタム、エチレンポリマーであり、これらの合計は輸出全体の84%を超える。

輸入は、主に、機械・プラント・輸送機械（49.6%）と織物・繊維製品・靴（18.5%）の二つの商品グループで構成されている。輸入に占める金属および金属製品の割合は8.6%、化学製品は7.3%、食品および農産物は3.4%、皮革原料・毛皮およびその製品は1.8%、木材および紙・パルプ製品は1.3%となっている。

主要な輸入品は、軽工業製品（ニット・繊維製品、皮革製品、靴および靴用パーツ）、家庭用電子機器（コンピュータ、電話機、テレビなど）、電子機器部品、機械製品全般（建設機械、自動車部品・部材、ポンプ設備）、家電機器（洗濯機、冷蔵庫、エアコンなど）、重電機器、鉄鋼製品（鋼材、鋼管、鋼板、非合金鋼など）、家具および家具用部材、玩具およびスポーツ用具、食品（青果物、魚・海産物）であり、これらの合計は輸入全体の67%を超える。

2011年第1四半期のロ中貿易高は180億ドルとなった。年間の予測では700億ドルの見込みとなっている。

2010年、ロシアと中国の辺境地域（黒龍江省、吉林省、遼寧省、内モンゴル自治区、新疆ウイグル自治区）との貿易高は、40.56%増えて166.5億ドルとなった。その際、ロシアの輸出額は37.14%増えて117.7億ドルに、輸入額は49.6%増えて48.6億ドルになった。これら地域とのロシアの貿易収支は69.2億ドルの黒字だった（2009年よりも29.6%増加）。これは、前述のようなロ中貿易全体のトレンドとは全く反する傾向である。貿易赤字が中国の中央部および南部地域との貿易において発生していることは明らかだ。

ロ中の貿易総額に占める中国の辺境地域との貿易のウェイトは、30.03%と、伝統的に大きい（2009年は30.52%）。辺境貿易の伸びは復調し、経済危機以前の水準にかなり近づきつつある。ロシア貿易において長期にわたって中国の全地域の中のトップを維持している黒龍江省との貿易が、特に大きく伸びた（プラス57.32%）。

2010年の中国の辺境地域のロシアとの貿易の全容を表2に示す。

中国の統計データに基づいて、2010年のロ中辺境貿易枠内での貿易取引を見ると、ロシアからの輸出で上位を占め

表1 2006～2010年のロシア・中国間の貿易額

(単位：十億ドル)

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年 1～4月
貿易額	28.7	40.3	55.9	39.5	59.3	24.6
前年比 (%)	141.2	140.6	138.7	70.6	150.3	149.3
輸出額	15.8	15.9	21.1	16.7	20.3	11.0
前年比 (%)	120.8	100.9	133.0	78.8	121.8	165.3
輸入額	12.9	24.4	34.8	22.8	39.0	13.6
前年比 (%)	177.8	189.1	142.4	65.7	171.2	138.5
貿易収支	2.8	-8.5	-13.6	-6.2	-18.7	-2.6

(出所) ロシア連邦関税庁

表2 中国のロシア隣接地域の二国間貿易（2001～2010年）（単位：百万ドル）

	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
中国辺境地域の 対口貿易	3,483.4 +15.5%	4,887.5 +40.3%	5,637.3 +15.4%	7,108.4 +26.1%	10,272.6 +44.5%	13,462.4 +31.1%	17,725.17 +31.7%	19,078.68 +7.6%	11,847.15 -37.9%	16,651.78 +40.56%
ロシアの輸出	2,743.9 +13.2%	3,828.9 +39.5%	3,825.7 -0.1%	4,722.6 +23.4%	6,210.98 +31.5%	8,387.63 +35.1%	9,956.86 +18.7%	13,429.86 +34.9%	8,595.0 -36.0%	11,786.8 +37.14%
ロシアの輸入	639.21 +7.9%	951.4 +48.8%	1,811.6 +90.4%	2,385.8 +31.7%	4,061.68 +70.3%	5,074.76 +24.9%	7,768.31 +53.1%	5,843.34 -24.8%	3,252.15 -44.3%	4,864.98 +49.59%
内訳：										
黒龍江省（総額）	1,390	1,881	2,660	3,845	6,339.1	9,129.62	12,422.8	12,191.29	6,898.73	10,852.99
ロシアの輸出	910	1,173	1,193	1,864	2,821.6	4,986.76	6,298.65	8,530.71	4,819.22	7,644.21
ロシアの輸入	480	708	1,467	1,981	3,517.5	4,142.86	6,124.15	3,660.58	2,079.51	3,208.78
内モンゴル自治区 （総額）	896.9	1,079.5	1,115.0	1,520.6	1,656.2	1,981.04	2,893.44	3,107.21	2,418.63	2,655.06
ロシアの輸出	889.9	1,070.0	1,088.5	1,484.0	1,625.7	1,937.39	2,783.81	2,912.69	2,329.07	2,561.02
ロシアの輸入	7.01	9.5	26.5	36.6	30.5	43.64	109.63	194.52	89.56	94.04
遼寧省（総額）	804.8	1,338.9	1,270.4	1,050.9	1,381.0	1,447.13	1,471.96	1,863.81	1,413.80	2,193.25
ロシアの輸出	695.2	1,176.0	1,061.3	816.1	1,033.1	880.89	651.89	944.97	897.43	1,448.18
ロシアの輸入	109.6	162.9	209.1	234.8	347.9	566.24	820.07	918.84	516.37	745.07
吉林省（総額）	142.7	181.1	314.7	433.1	577.3	728.30	567.15	794.54	460.30	594.24
ロシアの輸出	129.3	155.0	263.5	346.6	469.5	489.71	95.91	132.08	74.31	77.94
ロシアの輸入	13.4	26.1	51.2	86.5	107.8	238.59	471.24	662.46	385.99	516.3
新疆ウイグル自治区 （総額）	148.7	299.8	277.2	258.8	319.0	176.30	369.82	1,121.83	655.69	356.24
ロシアの輸出	119.5	254.9	219.4	211.9	261.0	92.88	126.60	714.89	474.97	55.45
ロシアの輸入	29.2	44.9	57.8	46.9	58.0	83.42	243.22	406.94	180.72	300.79

（出所）在中国ロシア連邦通商代表部の中国税関総署データ便覧

た品目としては、以下があげられる。

- ・ 原木：1,085万m<sup>3</sup>（2009年比で61.76%増）、ロシアの原木輸出全体の77.4%。
- ・ 製材品（挽材）：363万m<sup>3</sup>（38.02%増）、ロシアの製材品輸出全体の90.5%。
- ・ 塩化カリウム：152万8,160トン（344.59%増）、5億3,340万ドル（188.61%増）。
- ・ 原油：42万7,200トン（62.53%減）、ロシアの原油輸出全体の2.8%。
- ・ 鉱石：264万トン（9.9%減）、ロシアの鉱石輸出全体の14.88%、3億4,054万ドル（66.26%増）

2010年の中国辺境地域からの主要輸入品目は、以下のとおりである。

- ・ 靴：11億970万ドル（178.1%増）
- ・ 繊維製品（服）：4億4,402万ドル（39.3%増）
- ・ ニット衣料：3億6,337万ドル（114.9%増）
- ・ 機械・プラント：3億1,186万ドル（71.6%増）
- ・ 皮革製品：2億6,031万ドル（14.1%増）
- ・ 果物：1億4,140万ドル（9.4%減）

ロシア極東地域にとって、中国は、韓国および日本と並んで、以前から最大の貿易相手国の一つだった。ロシア連邦極東地域の2010年の貿易高235億ドルのうち、中国のシェアは69億ドル（26.6%）である。2009年（44億ドル）の落ち込みは回復し、中国との貿易額は2008年の水準（49億ドル）を超えた。

この対中貿易の増加は、輸入の急速な増加のおかげである。例えば、2010年にはロシア極東の対中輸出は27.5%、輸入は94.3%増加した。しかも、経済危機の数年間に中国はロシア極東市場への主要な製品供給者となった。2008年、ロシア極東の輸入における中国のシェアは36.3%だったが、2009年には43.0%、2010年には51.5%になった。これは、韓国（11.7%）および日本（10.1%）よりもずっと大きい。比較として挙げると、2010年のロシア極東の輸出における中国のシェアは19.1%だった。

中国商務部のデータによると、中国の対ロシア直接投資は2010年に5.94億ドルになり、2009年の4.1億ドルに対して43.8%増えた。直接投資総額（累計）は26.18億ドル（対前

年比29.3%増)になった。

ロシアにおける中国の投資活動の主な優先部門はエネルギー、鉱物資源開発、林業、貿易、軽工業、繊維業、家電製品、通信、建設、サービス分野である。

2010年、中国企業によって遂行された建設工事及び労働サービスの金額は前年比50%増えた。2010年には、ロシア国内で中国企業によって15億ドル相当(2009年は10億ドル)の作業が遂行された。11.9億ドル相当(2009年は12.1億ドル)の新規契約が締結された。2011年初めまでに、履行済作業の累計額は83.6億ドル(2009年68.6億ドル)に、締結済契約の累計額は131.8億ドル(2009年119.9億ドル)に達した。

2010年のロシアの対中国直接投資額は、10.0%増えて3,497万ドル(2009年3,177万ドル)になった。契約ベース投資額は33.4%減って1.2億ドルになった。ロシアの直接投資による新規登録事業の数は59件(2009年94件)となっている。2010年末には、ロシアの対中国直接投資総額は7億8,677万ドル(4.6%増)に、契約ベース投資額は23.1億ドル(2.6%増)となった。ロシアから中国への直接投資件数は2,328件(2.6%増)である。

2009年に、口中の投資連携を目的として、ロシア連邦経済発展省の下に中国の投資企業に提示するための地域プロジェクトを取りまとめる省庁間作業部会が設置された。2009年12月と2010年1月に開かれた同作業部会の2回の会合の結果に基づき、ロシア連邦の8つの構成主体からの特に有望な投資プロジェクト16件を、2010年2月に中国側に送付した。

2010年6月にはモスクワで、ロシア連邦経済発展省のスレプネフ次官と中国商務部副部長の主導で、地方の行政や企業の関係者が参加する特別投資セミナーが開かれた。このセミナーでは、ロシアの投資プロジェクトや、各地方政府による中国人投資家への優遇措置の可能性が紹介された。

2009年、二国間貿易における「グレーな」仕組みの排除策の策定を目的とし、口中首相定期会談準備委員会<sup>1</sup>の中に税関協力分科会が設置された。そこでは、税関申告および税関検査手続きの改善、貿易統計、税関協力に関する作業部会が組織された。両国の税関担当省庁は、二国間貿易に関する電子情報交換を試験的に開始した。貿易統計分野の方法論および情報面の協力に関する覚書、ロシア税関アカデミーと上海海関学院の協力に関する覚書、通関手続きおよび税関検査の改善での協力に関する覚書、2009～2010

年の関税法違反の取締りでの連携プランなど、一連の省庁間文書が調印されている。

2007年に発足した「機械系製品およびイノベーション製品の貿易を促進する口中会議」の活動の目的は、ロシアの輸出品構成の多様化という目標の達成に寄与することだった。2009年6月には、同会議の協力により、機械系製品などの輸入の可能性を検討するための中国の買付けグループの訪ロが実施された。この訪問の際、中国に輸出する可能性のあるロシア製の機械系製品のリストが、検討用資料として中国側に渡された。中国側では、ロシアでの機械・プラント買付けを増やすための一定の方策も講じられている。2009年には、1億元規模のロシア製機械系製品輸入支援基金が設立された。しかし、今のところ、ロシアの対中輸出品構成に目立った変化は見られない。

口中地域間・辺境貿易経済協力調整会議<sup>2</sup>の定例会合では、辺境地域の協力に関する問題が検討されている。2010年10月にはハルビンで第11回会合が開かれた。この会合では、貿易経済分野におけるロシアと中国の地域間の情報連携が強化されたことなどが指摘された。中国側では既に、口中地域間・辺境貿易経済協力常設作業部会<sup>3</sup>での検討に供するため、口中辺境・地域間貿易経済協力分野での情報交換のための情報プラットフォームの設置に関する提案書を提出済みである。

輸送環境や国境通過地点での業務の改善も続けられた。2009年9月、「マルコボ(ロシア)～虎林(中国)自動車通過地点」を経由する定期旅客輸送が再開された。中国側によって、「ニジニレニンスコエ(ロシア)～同江(中国)通過地点」の旅客・貨物の取扱いが、昼休憩無しの週7日12時間開庁体制へ移行する準備が整った。

中国側では、これまでにブラゴベシチェンスクと黒河の間のアムール川(黒龍江)横断橋梁の建設問題の検討と並行して、国境通過地点のインフラ建設計画に関する準備作業が完了した。アムール州政府は、橋梁のロシア側部分の設計・建設・運営に関する一般競争入札の実施とコンセッション協定の締結手順に関する文書を作成した。すでに、これらの提案書は合意調整のためロシア連邦政府の各省庁に送られたところである。

中国側はハイラル～ラブダリン～黒山頭およびシウエイ～モルダオガの各区間の鉄道建設を、第12次5カ年計画の国家鉄道建設計画に盛り込んだ。

<sup>1</sup> 訳注：中国名は「中俄総理定期会談委員会」。

<sup>2</sup> 訳注：中国名は「中俄辺境和地方経貿合作協調委員会」。

<sup>3</sup> 訳注：中国名は「中俄辺境和地方経貿合作常設工作小組」。

満州里国境通過地点では、試験的な「電子通過」プロジェクトが推進されている。

中国は、カムイショバヤ駅（ロシア）～琿春（中国）の間のスムーズな鉄道運行の確保を重視している。現時点では、琿春国境通過地点に最新のインフラが整備されており、大量の貨物輸送を行う能力を具備している。これにより、鉄道のスムーズな運行を実現することが可能となっている。

ハバロフスク地方政府と黒龍江省人民政府は、大ウスリー島（中国名：黒瞎子島）に整備予定の新たな国境通過地点を通る貨物流動量を、貨物の種類別・仕向地別に推計することで合意し、両政府は2010年2月9日にこれに関する覚書に調印した。

中国側は中国企業の入居を視野に、モゴイトゥイ集落（アガ・ブリヤート自治管区）のアガ工業区と、ザバイカル地方ザバイカルスク集落の「ダウリア」工業区の建設を重視している。

相互観光往来の手続簡素化の一環で、2009年4月1日から黒河、綏芬河、東寧の3つの国境通過地点では、ロシアへの観光旅行を目的とする中国国内の他地域の住民に対する観光パスポートの手続きが導入され、その結果、口中辺境観光が大いに活性化した。

また、「ロシア連邦の極東および東シベリアと中国の東北部との地域間協力プログラム」に含まれているプロジェクトに対して、中央レベルでの追加的優遇策と特惠を供与する可能性の検討について、口中調整会議共同議長による両国政府への要請書を作成することが合意された。

第11回会合では、グロデコボ駅（ロシア）～綏芬河駅（中国）区間の鉄道の整備改修、ニジニレニンスコエ（ロシア）と同江（中国）の国境通過地点の週7日開庁体制への移行、ブラゴベシチェンスク市（ロシア）と黒河市（中国）の間のアムール川横断橋梁建設箇所に新しい国境通過地点を開設する問題の検討、カムイショバヤ（ロシア）～琿春（中

国）区間のスムーズな鉄道運行の確保、ザバイカルスク～満州里間国境通過地点をベースにした試験的な「電子国境通過地点」を設置する問題の検討、ジャリンドラ（ロシア）～漠河（中国）間のアムール川横断鉄道橋の建設を含む輸送回廊の創設に向けた準備について、合意が成された。

さらに、次のような問題に関する両国政府間の協議の活性化について合意が成された。

- ・ ポクロフカ（ロシア）～洛古河（中国）間のアムール川（黒龍江）横断自動車用橋梁の建設に関する政府間協定の調印。
- ・ ブラゴベシチェンスク（ロシア）～黒河（中国）間アムール川横断橋の建設に向けた準備。
- ・ ボグラニチヌイ（ロシア）～綏芬河（中国）間国境通過地点経由での「中ロ互市貿易区」へのロシア国民の入域手続きの簡素化。
- ・ ハバロフスク地方政府と黒龍江省人民政府による大ウスリー島（黒瞎子島）での自動車国境通過地点の設置。

ロシア・中国・モンゴル協力に関しては、タシヤンタ（ロシア）～ホブド（モンゴル）～プルガン（モンゴル）～タイキシケン（中国）区間、タシヤンタ（ロシア）～ウルギー（モンゴル）～ダヤン（モンゴル）～紅山嘴（中国）区間の輸送路の整備に関する協議が予定されている。

以上のように、貿易やその他の口中経済協力分野での落ち込みは克服されたと断言できる。中国は国家間貿易でも辺境貿易でも主導的地位に立った。おそらく、ロシア東部地域における大規模な石油、ガス、工業、インフラのプロジェクトを実現することによって、ロシアの主要経済パートナーとしての中国の立場は一層強化されるだろう。

[ロシア語原稿をERINAにて和訳]

# *The Dynamics and Structure of the Trade of Eastern Russia with China*

KHUZIYATOV, Tagir

Professor, Far Eastern Federal University

## **Summary**

The global economic crisis could not but have had a negative impact on the pace of growth of Russian-Chinese trade, yet in 2010 the pre-crisis record was surpassed, and China became Russia's largest trading partner. The volume of Russian-Chinese trade in 2010, according to Russian customs statistics, increased by 50.3% to total US\$59.3 billion. The share of China in the foreign trade turnover of Russia amounted to 9.6% (5% in the volume of exports, and 17% of imports).

In 2010 the volume of trade between Russia and the bordering regions of China (Heilongjiang Province, Jilin Province, Liaoning Province, Inner Mongolia Autonomous Region, and Xinjiang Uygur Autonomous Region) increased by 40.56% to US\$16.65 billion. Meanwhile Russian exports grew 37.14% to US\$11.77 billion, and imports increased by 49.6% to US\$4.86 billion.

For the Russian Far East, China, along with the ROK and Japan, has long been one of its largest trading partners. Of the US\$23.5 billion foreign trade turnover of the Far East of Russia in 2010, China's share was US\$6.9 billion (26.6%). The decline in 2009 (US\$4.4 billion) has been overcome, and the volume of trade with China has surpassed the 2008 level (US\$4.9 billion).

According to the data of the Ministry of Commerce of the People's Republic of China, China's direct investment in Russia for 2010 increased by 43.8% to US\$594 million as against US\$410 million in 2009. The total cumulative direct investment reached US\$2.618 billion dollars (+29.3%). The main priorities for China's investment in Russia were energy, the development of mineral resources, forestry, trade, light and textile industries, household electrical appliances, communications, construction and the services sector.

Russian direct investment in China in 2010 increased by 10.0% to US\$34.97 million, as against US\$31.77 million in 2009. Contractual investment decreased by 33.4% to US\$120 million. The number of new, registered projects with Russian direct investment was 59 (94 projects in 2009).

A special investment seminar was held in June 2010 in Moscow, under the chairmanship of A. A. Slepnev, the Deputy Minister of Economic Development of the Russian Federation, and the Deputy Minister of Commerce of the People's Republic of China, which was attended by representatives of regional administrations and companies, and at which were presented Russian investment projects, as well as the possibility of regional administrations giving preferential treatment to Chinese investors.

Issues of cooperation in border areas are considered at regularly scheduled meetings of the Russian-Chinese Coordination Council on Interregional and Cross-Border Trade and Economic Cooperation. The 11th meeting was held in Harbin in October 2010. In particular at the meeting, it was pointed out that information cooperation had strengthened between the Russian and Chinese regions in the trade and economic sphere. The Chinese side has already sent for study to the Russian-Chinese Permanent Working Group on Interregional and Cross-Border Trade and Economic Cooperation proposals on the establishment of an information platform for the exchange of information in the area of Russian-Chinese cross-border and interregional trade and economic cooperation.

Thus, it can be argued that the decline in trade and in other forms of economic cooperation between Russia and China has been overcome. China has emerged with a leading position in interstate as well as in border trade. The realization of major oil, gas, industrial and infrastructure projects in the east of Russia will probably assist the consolidation of China as a principal economic partner of Russia.

[Translated by ERINA]